

▼詳細はこちら

- ・普及事業関係法令等

https://www.maff.go.jp/j/seisan/gizyutu/hukyu/h_tuti/index.html

- ・協同農業普及事業の運営に関する指針（運営指針）

https://www.maff.go.jp/j/seisan/gizyutu/hukyu/h_tuti/attach/pdf/index-141.pdf

- ・協同農業普及事業の実施についての考え方（ガイドライン）

https://www.maff.go.jp/j/seisan/gizyutu/hukyu/h_tuti/attach/pdf/index-142.pdf

※お問い合わせ先

農林水産省 農産局 技術普及課

（担当：普及ユニット）（03-6744-2107）

=====

◆農作業受託に必要な機械導入等の支援を公募中！8月22日まで（令和6年度補正「スマート農業・農業支援サービス事業導入総合サポート緊急対策事業」）

=====

農作業受託等（農業支援サービス）を通じて農業者をサポートする事業者が、コンバインやドローン等の農業機械を導入する場合の支援（補助率1/2）や、農業支援サービス事業の立上げ・既存事業の拡大の際に行うニーズ調査、専門人材の育成（例：ドローン免許の取得）等、事業（拡大）初期に係る費用を幅広く支援（定額）する事業について、第4次公募を8月22日まで実施中です。

農業支援サービス事業の主体は、農業者に限らず、農業分野とは直接関係のない事業者（例：建設業者等。個人・法人も問いません。）でも可能です。

普及指導員の皆様におかれましては、この機会に、管内の事業者幅広くご紹介いただき、農業現場の人手不足の解消等に役立つ農業支援サービス事業の推進にご協力をお願いいたします。

▼詳細はこちら

○スマート農業・農業支援サービス事業導入総合サポート緊急対策事業（令和6年度補正予算）

- ・事業PR資料はこちら

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/attach/pdf/service-138.pdf>

- ・事業の公募情報等はこちら

https://www.maff.go.jp/j/supply/hozyo/nousan/250708_140-1.html

※お問い合わせ先

農林水産省 農産局 技術普及課

（担当：スマート・サービスユニット）（03-6744-2107）

=====

◆農作業安全に関するポスターデザインを募集中です！

=====

農作業安全に対する国民意識の醸成及び効果的な推進を図るため、一般社団法人日本農業機械化協会は、農林水産省の補助事業を活用して「農作業安全ポスターデザインコンテスト」を実施しています。

優秀な作品は表彰を行うとともに、農林水産大臣賞受賞作品については、農作業安全対策のポスターデザインに採用し、全国に配布する予定です。

普及指導員の皆様におかれましては、このことを広く周知していただき、多くの方から応募いただけますようご協力をお願いします。

▼ポスターデザインの募集期間

令和7年6月2日(月)～8月29日(金) (当日消印有効)

▼詳細はこちら

https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/anzen/posuta.html

※お問い合わせ先

一般社団法人日本農業機械化協会 (03-3297-5640)

農林水産省 農産局 技術普及課

(担当：寒川) (03-6744-2107)

++・…… 病虫害発生予報の発表について ……・++

=====

◆「令和7年度 病虫害発生予報第4号」(令和7年7月9日(水)付け)を発表しました。

【消費・安全局 植物防疫課】

=====

農林水産省は、今後の農作物の病虫害発生動向や防除について「病虫害発生予報第4号」を発表しました。

普及指導員の皆様におかれては、病虫害防除所等と連携し、地域での防除が確実に実施されるようご指導をお願いします。

○今後発生量が多くなると予想される主要な病虫害及び地域

・水稲の斑点米カメムシ類：北海道、南東北、南関東、北陸、東海及び中国の一部の地域

・野菜・花きのオオタバコガ、シロイチモジヨトウ及びコナガ：複数の地域

・なしのシンクイムシ類：北関東及び北九州の一部の地域

この他、ねぎのアザミウマ類及び果樹カメムシ類等、地域によっては多くなると予想されている病虫害があるので注意してください。

また、今後も継続して気温が高くなる見込みであることから、害虫の発生量の増加や発生時期の長期化により、農作物への被害が増えるおそれがありますので、発生状況を注意し、適期の防除を実施してください。

▼詳細はこちら

・都道府県の発表する病虫害発生予察情報と併せてご利用ください。

○「令和7年度 病虫害発生予報第4号」の発表について(令和7年7月9日付け農林水産省プレスリリース)

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/syokubo/250709.html>

○都道府県の病虫害発生予察情報など

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/yosatu/index.html>

※お問い合わせ先

農林水産省 消費・安全局 植物防疫課

(担当：岡田、城野、古澤) (03-3502-3382)

++・…… 施策情報 ……・++

=====

◆不稔被害を生じさせるイネカメムシにご注意ください

【消費・安全局 植物防疫課】

=====

水稲に不稔被害を生じさせるイネカメムシの発生が拡大し、令和6年には37都府県で確認され、減収被害が生じた地域も報告されています。イネカメムシによる不稔を防止するためには、他の主要な斑点米カメムシ類と異なり、出穂期に防除を行うことが重要です。また、イネカメムシは斑点米も生じさせることから、他の斑点米カメムシ類とともに、発生が多い場合は、斑点米の発生を防止するため出穂期以降の2回目防除が必要です。

イネカメムシは出穂期以降、水田に活発に飛来します。普及指導員の皆様におかれては、病虫害防除所と連携し、地域での発生量を注視し、防除が適時に実施されるようご指導願います。また、周囲より出穂が早い水田や遅い水田は集中加害を受ける場合がありますので、生産者の皆様に特に注意するよう呼びかけをお願いします。

▼詳細はこちら

○イネカメムシの防除について

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/kamemusi.html>

※お問い合わせ先

農林水産省 消費・安全局 植物防疫課

(担当：岡田、城野) (03-3502-3382)

=====

◆「ふぞろいな青果物を考えるシンポジウム」を開催します。

【農産局 園芸作物課】

=====

いわゆる「規格外青果物」など出荷規格を満たさない青果物については、自家消費や、直売所等での販売だけでなく、近年では「規格外」であることを売りにして加工品の商品展開を図る取組が見られるなど、その活用の幅は広がっています。

今般、「規格外野菜」「規格外果実」に関する先進的な取組事例を広く知ってもらうこと、「規格外」に問題意識・関心のある生産者・実需者の情報交換の場を設けることを目的として、シンポジウムを開催することとしました。

このほか、園芸作物課では「規格外青果物」の有効活用事例の収集・公表も行っていきますので、ぜひ一度Webサイトを御覧ください。

普及指導員の皆様におかれましては、青果物全体の有効活用の推進について現場への案内等の御協力をお願いします。

▼詳細はこちら

○青果物のお荷規格を見直してみませんか？

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/ryutu/engei/kikaku.html>

※お問い合わせ先

農林水産省 農産局 園芸作物課

(担当：大西、小埜) (03-3501-4096)

=====

◆「雇用就農資金（令和7年度第2回目）」の募集を開始しました

【経営局 就農・女性課】

=====

農林水産省は、50歳未満の就農希望者を新たに雇用して研修を行う農業法人や個人経営者に資金を交付する「雇用就農資金」の令和7年度第2回目募集を開始しましたので、お知らせします。

【助成額・期間】年間最大60万円（令和7年10月から最長4年間）

【募集期間】令和7年7月1日（火）～8月4日（月）

【申請先・相談窓口】都道府県農業会議等

普及指導員の皆様におかれましては、農業者の皆様への周知にご協力をお願いします。

▼詳細はこちら（全国新規就農相談センターHP）

https://www.be-farmer.jp/farmer/employment_fund/

※お問合せ先

農林水産省 就農・女性課（雇用グループ）(03-6744-2160)

=====

◆「水稻移植栽培における除草剤体系処理によるナガエツルノゲイトウ防除技術標準作業手順書」を公開

【農研機構】

=====

農研機構は水稻移植栽培における除草剤体系処理によるナガエツルノゲイトウ防除技術標準作業手順書を6月24日ウェブサイトで公開しました。

本手順書は、難防除外来雑草のナガエツルノゲイトウを対象として、水稻移植栽培を行う水田における防除技術の作業手順をわかりやすく解説しています。

普及指導員の皆様におかれましては、本手順書の活用をご検討いただき、現場でのご指導及びご協力をお願いします。

▼詳細はこちら

https://www.naro.go.jp/publicity_report/press/laboratory/nipp/169462.html

※お問い合わせ先

農研機構お問い合わせフォーム

<https://www.naro.go.jp/inquiry/index.html>

農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究企画課
(担当：吉田、佐藤、高橋) (03-3502-7407)

=====

◆知財の扱いにモヤモヤすることはありませんか？

【農林水産技術会議事務局 研究企画課】

=====

農林水産省では、普及活動に係る知的財産の取扱いについて、悩みを抱える都道府県同士で意見交換を行う場を設けることになりました。他県の情報や弁護士からの助言を得る絶好のチャンスですので、ぜひご参加ください。

▼対象：

普及指導員又は知財担当者で、例えば以下のモヤモヤを感じる方。

- ・農家のノウハウを地域に普及する際の留意点は？
- ・県育成品種の厳格な管理を、農家に指導するのが難しい。

▼活動内容：

本年8月～来年2月の間で2～3回、知財専門家(弁護士)を交えたクロージドの意見交換を実施。

▼申込方法：

都道府県の研究知財担当経由でお申し込みいただけます。個別で詳細な説明等も可能ですので、少しでも関心のある方はお気軽に御相談下さい。

(参考) 戦略的研究開発知財マネジメント強化事業

<https://www.affrc.maff.go.jp/docs/yosan/attach/pdf/mokuji-56.pdf#page=43>

※40頁「戦略的研究開発知財マネジメント強化事業」事業内容の2。

※お問い合わせ先

農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究企画課知財班

(担当：松本、藤田、奥岡、土田) (03-3502-7436)

メールアドレス：gikai_chizai@maff.go.jp

=====

◆〈みどり戦略技術紹介〉イネウンカ AI 自動カウントシステム

【大臣官房 政策課 技術政策室】

=====

「みどり戦略技術紹介」では、毎月、環境負荷の低減に取り組む農業者の皆様
に役立つ技術をご紹介します。

今回は、イネウンカ AI 自動カウントシステムについてです。現場での効果的
で効率的な防除に繋がる技術です。

イネ害虫の発生調査において、調査用粘着板の画像からイネウンカ類を自動
認識する AI が開発されました。ウンカ類を 90%以上の精度で認識・自動カウ
ントすることで、目視では粘着板 1 枚当たり 1 時間以上かかることもある調査時
間を、5 分程度に短縮できます。これによって均一な精度で、迅速かつ省力的に

